

当院の「身体拘束最小化」への取り組みについて

当院では、患者様がその人らしく、尊厳を持って安全に療養生活を送っていただけるよう努めています。そのため、患者様の行動を制限する「身体拘束」を原則として行いません。

1. 私たちの基本方針

私たちは、身体拘束が患者様の心身に与える影響（筋力の低下や不安感など）を重く受け止め、拘束に頼らないケアを第一に考えます。

2. 「やむを得ない場合」について

安全を最優先に考えた結果、以下のような非常に限定的な状況に限り、慎重に検討した上で一時的に最小限の制限を行う場合がございます。

- 点滴などの医療器具を抜いてしまい、生命に危険が及ぶとき
- 転倒・転落の危険性が極めて高く、他に防ぐ手段がないとき
- 他の方やご自身を傷つけてしまう恐れがあるとき

3. 実施にあたってのお約束

もし実施が必要となった場合でも、以下のことをお約束します。

- **説明と同意：**
ご本人やご家族へ理由を丁寧にご説明し、同意をいただきます。
- **早期の解除：**
毎日状況进行评估し、少しでも早く解除できるよう工夫と検討を続けます。
- **尊厳の維持：**
実施中も、不快感や苦痛を最小限にするためのケアを欠かしません。



「安全」と「自由」を両立させるために、ご家族の皆様のご理解とご協力が最重要だと考えております。

気になることやご不安な点がございましたら、いつでもスタッフまでお気軽にご相談ください。

令和8年6月 医療法人 雨宮病院 院長 雨宮雷太